

目指す学校像

笑顔とやさしい言葉に満ちあふれた学校

人づくり

OJT・メンタリング等の活用や目標管理システムの導入により、高い専門性を有する教員づくりに取り組む。

教育目標

幼児児童生徒一人一人の障害の状態や特性に応じた教育を行い、たくましく生きる力と豊かな心で、いきいきと生活する人間の育成を図る。

組織づくり

理念の共有化やミドルリーダーの活用により、アメラバ型組織の特徴を生かし、より機能的な組織づくりに取り組む。

学校経営方針

- ・各学部の特色を活かしながら、一貫した教育を行う。
- ・健康・安全に留意し、自立的に生活する力の育成に努める。
- ・生活体験の拡大を図り、豊かな個性の伸長に努める。
- ・学校間や地域との交流を通して、広く豊かな人間関係づくりに努め、社会性の向上を図る。
- ・幼児児童生徒の実態に応じた適切な進路指導を行う。
- ・家庭や教育・医療・福祉・保健・労働機関との連携を密にし、共通理解と協力のもとに、より効果的な教育を行う。

研究テーマ(理念の共有化)

一人一人の思いを読み取り、自己実現を目指す授業づくり
～ICFの理念に基づいた取り組み～

重点目標

<p>1 学習指導 (共通項目) 教務部</p> <p>・個のニーズに応じた自立活動の充実を目指す。</p>	<p>2 生活指導 (共通項目) 生徒指導部</p> <p>・幼児児童生徒が安心して安全に過ごせる環境作りに努める。</p>	<p>3 進路指導 (共通項目) 進路指導部</p> <p>・幼児児童生徒の、社会への円滑な移行を実現する。</p>	<p>4 保健・安全管理 (独自項目) 保健安全部</p> <p>・幼児児童生徒の健康で安全な生活の維持・向上に努める。 ・教職員および幼児児童生徒の危機対応能力の向上を図る。安全に学校生活を過ごせる環境を整える。</p>	<p>5 PTA活動 (独自項目) 庶務交流部</p> <p>・保護者・教職員の協力関係や理解を深めるために、充実したPTA活動を推進する。</p>	<p>6 研究・研修 (独自項目) 図書・研究部</p> <p>・ICFの理念に基づき、個々に応じた支援を目指す。</p>	<p>7 教育相談 (独自項目) 教育相談部</p> <p>・幼児児童生徒の家庭や彼らが関わる様々な機関と連携を図り、地域の子どもたちが、生活しやすいよう支援する。</p>	<p>8 情報管理 (独自項目) 情報管理部</p> <p>・学校ホームページのよりいっそうの充実を図るとともに、情報資産の利活用と利便性を向上させるために共有化を推進する。</p>	<p>9 寄宿舎 (独自項目) 舎務部</p> <p>・寄宿舎生が自分の願いを持ち、それを実現するために自らが考え、行動できるよう支援する。</p>
--	--	--	---	--	---	--	---	--

具体的な取組み

<p>・自立活動の指導の目標を明確にして学習内容を設定する。 ・教員間の連携を図る。</p>	<p>・交通安全に対する幼児児童生徒や教職員・保護者の意識を高め、交通安全対策などの充実を図り、安全な登下校に努める。</p>	<p>・幼児児童生徒の自己実現と進路先の決定を目指し、体験学習や進路学習を計画的に実施する。 ・保護者および教職員に対する研修や進路に関する情報の充実を図る。</p>	<p>・幼児児童生徒の口腔内の衛生指導に取り組む、健康の増進を図る。 ・避難訓練や防犯研修を充実させる。危険箇所を早期に発見し、対策を講じることで事故を未然に防ぐ。</p>	<p>・保護者同士および保護者と教職員がPTA活動を通して意見交換できるように工夫する。</p>	<p>・グループ毎に、事例研究を通して授業実践・活動実践に取り組む。またICFの理念を教育実践に即して具体的に理解するために、他校・他学部の実践報告を聞く機会を設ける。</p>	<p>・地域の幼保・小・中・高校の気がかりな子どもたちの担当者が適切な支援を行えるように家庭や各機関と連携を図りながら、相談活動を行う。 ・学校見学会の実施、教育相談便り、HPの作成を通して、保護者を含む地域の人々が、本校の教育活動への理解を深める機会を増やす。</p>	<p>・地域や保護者との連携を深めるために情報を収集、発信できるホームページ作りを図るとともに、セキュリティに十分気をつけながら情報資産を利活用した授業等での取り組みの推進を図る。</p>	<p>・寄宿舎生が舎の生活や活動を自ら計画し、実行することができるよう、発達段階に応じた指導方法の改善に取り組む。</p>
--	---	---	--	--	--	---	--	---